

地区国際奉仕・WCS委員会 副委員長 **戸田 和孝**
(大阪ちゃやまちRC)

<日時> 2008年3月15日(土)9:30~11:30
<場所> 薬業年金会館
<出席者> 若林紀男 パスト・ガバナー
大谷 透 ガバナー・ノミニー
地区財団法人道的補助金委員会 辻川功一副委員長
地区国際奉仕・WCS委員会 宮里唯子委員長および委員
地区内クラブ2007~2008年度 国際奉仕・WCS委員長

会議は定刻に、若林PGの挨拶で開始、地区のWCS活動が非常に活発で大きな成果をあげていることに言及されました。

続いて宮里委員長から、今期の活動報告やアンケート記入の注意、DDFとMGについての解説がありました。また、MGを行う際に留意する点などを説明、特に強調したのは、英文メールのチェックと報告書の作成を確認することの重要性でした。

島井副委員長は、国際大会に関する事項、友好クラブ・姉妹クラブ提携、国際奉仕活動の呼びかけを行いました。

人道的補助金委員会・副委員長の辻川氏は、資料に沿ってMGのすすめ方や補助金の計算方法に言及し、「お金を出すだけで後のことは知らない。」というやり方では対応しきれないということを述べています。

活動報告の一番目は、八尾中央RCの吉馴委員長。前回に続いてタイ・パヤオ県の水プロジェクトを報告。約8700人の子供たちが安全な水を飲めるようになることの意義は、単に衛生上の問題にとどまらず、人身売買などの問題への意識の高まりにも繋がるということを説明しました。

二番目は東大阪中央RCのGSE委員長、有江健氏。フィリピンの困窮家庭に養豚を根付かせるプロジェクトを紹介、経済的自

立が地域コミュニティを確立し、それが衛生・教育の方面まで波及していくことを資料にもとづいて発表しました。ひきつづき、移動式学習センターの設置にも協力するそうです。

最後の発表は大阪東RCの中川清孝氏と藤村達夫氏。フィリピンにおけるストリートチルドレンの教育・職業訓練を助ける活動や、漁村の保育園や孤児院を支援するプロジェクトを紹介。続いて、スリランカでの義肢提供プロジェクトの説明を行い、日本円にすると僅かなお金で義肢を必要とする人たちを救えることを伝え、協力を募りました。

熱気を孕んだ発表の後、大藤委員から地区WCS基金会計報告があり、最後は大谷透GNから所感と閉会挨拶をいただき、盛会のうちに会議は閉幕いたしました。

当日、ご多忙の中ご出席くださいました皆様方に御礼を申し上げます。

